

第5次総合計画推進施策評価

留萌市では、市民満足度の向上と効果的、効率的な仕事のしくみの確立を目指し、これまで事務事業分類を基本に評価を実施してきました。

昨年度からは、留萌市自治基本条例の実施に合わせ、市の仕事の進み具合を評価し、総合計画に掲げた85の施策分類での評価を実施し、21の戦略プログラム別にまとめました。

基本方針

現在、留萌市の財政状況は危機的な状況にあり、市民の安心な暮らしを守る「市立病院の継続経営」と「財政再生団体への転落回避」を目標に新・財政健全化計画と市立病院改革プランを策定し、持続可能な経営改善に取り組んでいます。

同計画の中には市民サービスの見直しも含まれていますが、総合計画に掲げた市民満足度の向上を目指し、将来のまちづくりに向け、必要な施策を進めなければいけません。

そこで、第5次総合計画推進施策評価を実施し、市民の皆さんの声を生かしながら、これまでの施策推進の検証とこれからの事業手法の改善、見直しへとつなげていきます。

目的

- 総合計画に掲げた成果指標数値の検証
- 総合計画における施策の目的を達成するための事業手法の検証
- 各部の課題の発見と改善に向けた取り組み強化
- 市民への情報提供
- 職員意識改革と成果を重視した事業運営、政策形成への取り組み

評価の概要

2008年度から2009年度にかけて、成果指標の改善状況を見ると、115指標中、77指標で数値の改善が図られました。

これは、全体の67・0%にあたります。

- また、第5次総合計画の前期（2007年度～2011年度）の目標数値は、115指標中、16指標で達成しています。
- これは全体の13・9%です。
- 目標値を達成していた指標は次の通りです。
- 小売業の売り場面積当たりの年間販売額
 - 中心市街地における居住人口の割合
 - 要介護（支援）認定者率
 - 国民健康保険の1人当たり1年間の医療費
 - 産直市などの参加者数
 - 農業生産高
 - 1件当たり1年間の電灯電力量
 - 市民1人が1日に出すごみの量
 - 除雪満足度
 - 町内会における自主防災組織の組織数
 - 地域のこわいおじさん、おばさん運動への登録延べ件数

評価結果の活用

第5次総合計画推進施策評価の結果は、次年度以降の事業見直しや重点分野、新たな政策、具体的な取り組みなどにつなげ、実施計画、予算の編成に反映させていきます。

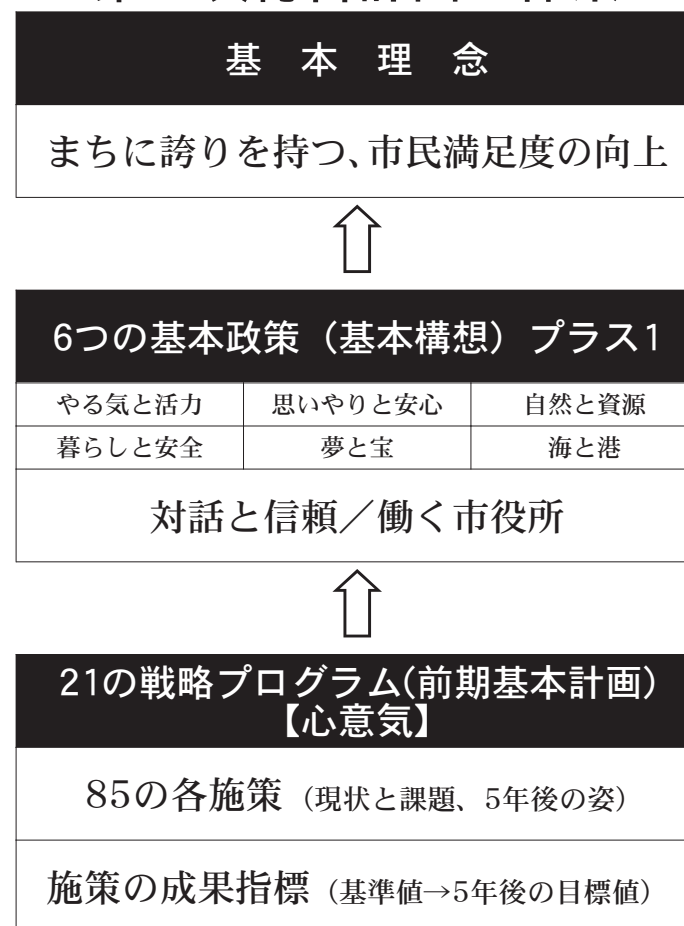
また、評価結果を市ホームページ、情報公開コーナーなどを通じて市民の皆さんに公開し、透明性の確保を図ります。

これからも、市民の皆さんとの対話を進め、ご意見をいただきながら市政に反映していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

第5次総合計画推進施策評価の詳細は、市ホームページ <http://www.e-rumoi.jp/> に掲載されています。

お問い合わせは、市・政策経営室企画調整課 ☎42・1809 まで

第5次総合計画の体系



評価の方法

- 評価対象
第5次総合計画の体系別に分類された85施策
 - 評価方法
客観的な視点（＝市民と同じものさし）で評価できるような「成果指標」と、それに基づく「達成目標」に対し、市の仕事の進み具合について、次の視点で評価を行います。
- ① 目標値との差が大きい理由や課題、問題点
- 「成果指標」の結果から見た、達成

目標との差が大きい要因や、仕事（施策）の進み具合に対する課題などを発見しています。

② 施策を進めるためのしくみの検証
「成果指標」の結果から見て、仕事を進める（指標数値を伸ばす）ために、効果的なくみかを検証しています。

③ 次年度以降の仕事（施策、事業）の改善
右記の検証・分析を踏まえ、次年度以降に向けて、事業そのもの、あるいは事業手法の改善について検証しています。

【心意気4】健康の維持と増進

市民の健康を守るため、重点的に取り組んでいる【心意気4】健康の維持と増進についてご紹介します。

健康の維持と増進には、6指標があります。健康管理に気をつけている市民の割合など4指標が改善されていました。残りの2指標は、健康診査制度の変更に伴い、成果指標が変更されました。

詳細については、右記をご覧ください。

成果指標からみた現状分析と今後の推進展開

■ 市民の健康維持、増進や予防のための健診、相談、指導体制についての重要度が高い状況や社会背景などから健康に対する関心が高まっているので、健康意識を高める場いかに参加を増やしていくか、魅力ある健康施策づくりに取り組んでいきます。

■ 平成19年に策定した留萌市健康づくり計画では、食生活、運動、たばこ、疾病予防、いきいき元気を重点項目に掲げ、目標値を設定して取り組みを進めており、今後も、計画を大きな政策の柱に位置づけ、健康いきいきサポーターなどの協力を得ながら、市民の健康を守る施策の展開をします。

「健康に気をつけている市民の割合」 86.1% ↑ 昨年は 83.8%	「健康の維持や増進に関する満足度」 28.2% ↑ 昨年は 22.2%
「病気予防の健診、相談、指導に対する満足度」 35.6% ↑ 昨年は 30.5%	「介護予防の健診、相談、指導に対する満足度」 26.6% ↑ 昨年は 23.5%
「特定健康診査の受診率」 22.2%	「特定健康診査における40~75歳の生活習慣病のリスク保有率」 37.6%